Research 調査

景気動向調査

「(山形・秋田)県内企業の景気動向調査」(概要)

① 調査の目的

山形・秋田県内に本社を置く法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しについて調査を行い、景気の動向を把握することを目的とする。

② 調査の方法

すべての質問事項についてDI（Diffusion Index）値を求める。たとえば、各社の業況を示す「自社の業況DI値」の算出方法は「自社の業況DI値」＝（「良い」と回答した企業の割合）－（「悪い」と回答した企業の割合）

③ 調査期間

平成29年２月１日(水)～14日(火)

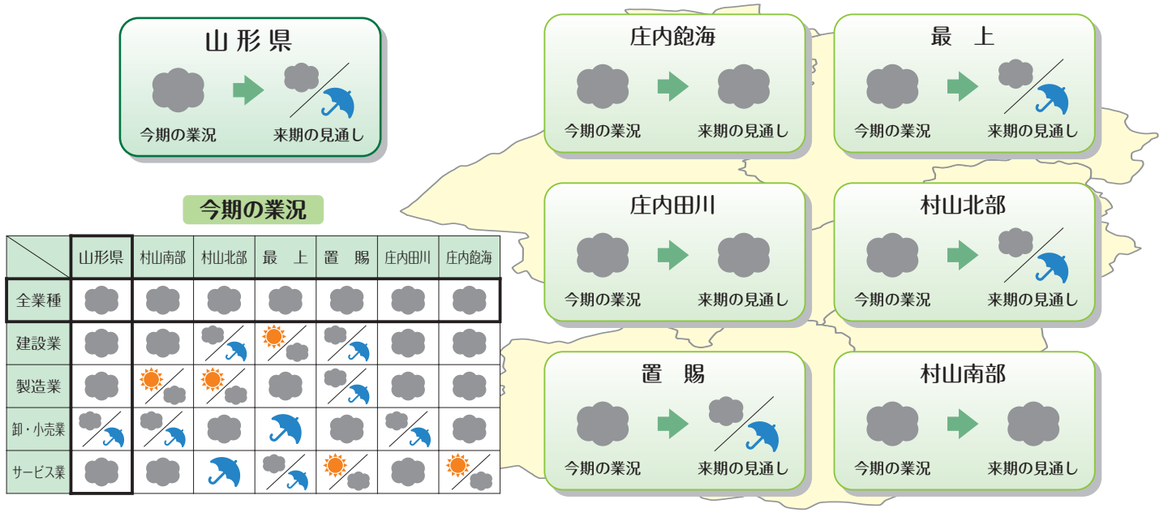
④ サンプル概要

アンケート対象企業	山形686社、秋田638社
有効回答数	山形443社、秋田401社
回答率	山形64.6%、秋田62.9%

特に好調	好　調	まあまあ	不　振	きわめて不振
DI≧30	30>DI≧10	10>DI≧▲10	▲10>DI≧▲30	▲30>DI

▶景気の天気図

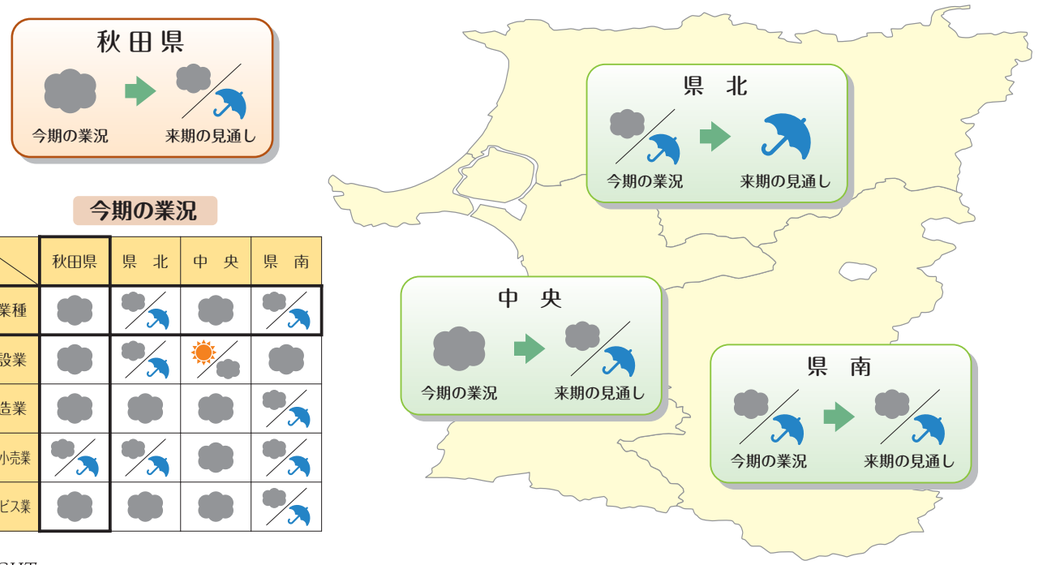
第50回「山形県内企業の景気動向調査」



今期の業況

	山形県	村山南部	村山北部	最　上	置　賜	庄内田川	庄内飽海
全業種	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
建設業	☁	☁	☁	☀	☁	☁	☁
製造業	☁	☀	☀	☁	☁	☁	☁
卸・小売業	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
サービス業	☁	☁	☁	☁	☀	☁	☀

第23回「秋田県内企業の景気動向調査」



今期の業況

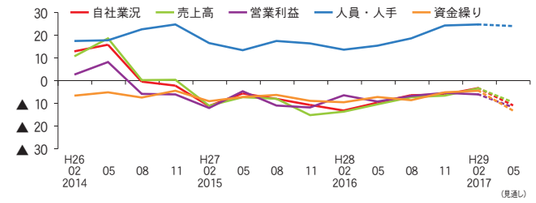
	秋田県	県　北	中　央	県　南
全業種	☁	☁	☁	☁
建設業	☁	☁	☀	☁
製造業	☁	☁	☁	☁
卸・小売業	☁	☁	☁	☁
サービス業	☁	☁	☁	☁

▶自社業況の動向

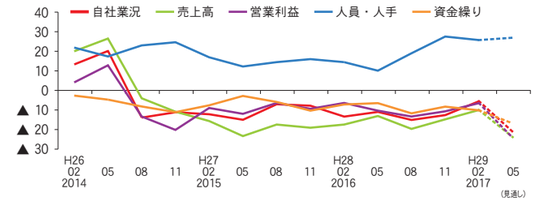
山形県の業況は、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲3.1（前回調査比2.9ポイント上昇）と**改善**となった。「各種DI値（前年同期比）」をみると、「売上高」が改善、「営業利益」「人員・人手」「資金繰り」がほぼ横ばいとなった。先行きは「自社の業況DI値」が▲10.6と悪化の見込みとなっており、景況感は足踏み状態が続いているものと考えられる。

秋田県の業況は、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲5.5（前回調査比7.1ポイント上昇）と**２期連続で改善**した。「各種DI値（前年同期比）」は、「売上高」と「営業利益」がともに改善した一方、「人員・人手」「資金繰り」は悪化した。先行きは「自社の業況DI値」が▲21.2と、依然として慎重な見通し。

図表１　山形「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表２　秋田「自社業況DI値（前年同期比）」の推移

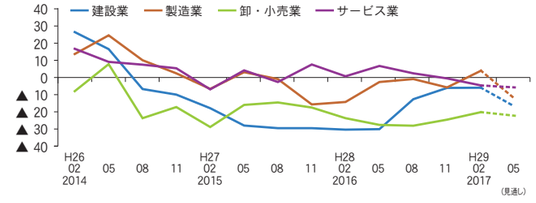


▶業種別の動向

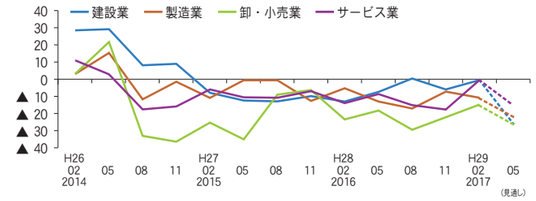
山形県の業況（前年同期比）を業種別にみると、**建設業でほぼ横ばい、サービス業で**DI値がマイナスに転じて**悪化**したものの、**製造業と卸・小売業で改善**した。先行きは、すべての業種で悪化の見込みとなっている。

秋田県の業況（前年同期比）を業種別にみると、**建設業、卸・小売業、サービス業の３業種では改善**した一方、**製造業では悪化**した。先行きは、すべての業種で悪化が見込まれている。

図表３　山形・業種別「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表４　秋田・業種別「自社業況DI値（前年同期比）」の推移

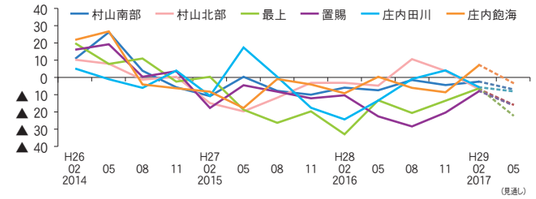
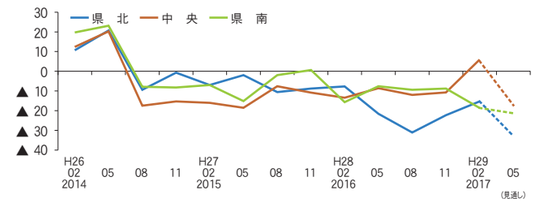


▶地域別の動向

山形県の業況（前年同期比）を地域別にみると、**村山北部、庄内田川で悪化**した一方で、**村山南部、最上、置賜、庄内飽海で改善**となった。村山北部では３期ぶり、庄内田川では２期ぶりにDI値がマイナスに転じた。

秋田県の業況（前年同期比）を地域別にみると、**県北、中央が改善**した一方、**県南は悪化**した。中央では、平成26年５月調査以来11期ぶりにDI値がプラスとなった。

図表５　山形・地域別「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表６　秋田・地域別「自社業況DI値（前年同期比）」の推移